学校番号	119

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店出版）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 ノート レポート 等	ノート レポート 体育理論の取組み 等	技能観察 ノート スキルテスト 等	ノート レポート 体育理論の取組み 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体つくり運動(共通) 球技 器械体操 水泳(女子)	オリエンテーション 体ほぐしの運動 体力を高める運動 体育理論 サッカー(男子) パス　ドリブル　シュート ミニゲーム バスッケットボール(男子) シュート　対人の攻防 ゲーム ティーボール(女子) キャッチボール　守備 バッティング　ミニゲーム 器械体操(女子) 前転（閉脚・開脚・伸膝） 後転（閉脚・開脚・伸膝） 側転　倒立前転 水泳(女子) 背泳ぎ　平泳ぎ　クロール 泳ぎこみ 三種目泳(75m測定) 1学期振返り	○	○	○	○	a 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。 b 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。 c 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。 d 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 記録測定 スキルテスト 技能テスト

2学期	水泳(男子) 球技	水泳(男子) 背泳ぎ　平泳ぎ　クロール 泳ぎこみ 三種目泳(75m測定) サッカー(男子) パス　シュート　ゲーム ラグビー(男子) パス　キック　ルール パスゲーム　モール ゲーム ソフトボール(女子) シートノック　バッティング ルール　ゲーム 硬式テニス(女子) ストローク　サーブ スマッシュ　ボレー ルール　ゲーム 2学期振返り	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
3学期	持久走	持久走(男子) 脈拍の取り方 慣らし走・20分間走・1000m走・3500m走 持久走(女子) 脈拍の取り方 慣らし走・20分間走・1000m走・2100m走 3学期振返り	○	○	○		a:記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:自己の課題に応じた運動の取り組み方やペースの変化に対応するなどを工夫している。 c:各種目の特性に応じた技能を身につける。 d:技術や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 記録

	体育理論	・オリンピックと国際理解 ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ理論 ・生涯スポーツの見方考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ ・日本のスポーツ振興	○	○		○	a:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に自主的に取り組もうとしている。 b:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 d:スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、言ったり書きだしたりしている。	受講態度の観察 ノート レポート 体育理論のテスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。